

**広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム
協定大学実施ショートプログラム 参加報告書①**

所属学部・研究科	教育学部 3年次
留学先大学	西南政法大学 (国名: 中国)
プログラム名称	西南政法大学春期短期研修プログラム
プログラム期間	平成29年 3月12日 ~ 平成29年 3月21日

1. 渡航について

出国年月日	平成 29年 3月12日
経路	関西空港 → 江北国際空港 (重慶)
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (大学の学生)
帰国年月日	平成 29年 3月23日
経路	江北国際空港 → 成田空港

2. 所要経費について

所要経費	総額	70180	円	
	内訳	航空費	31540	円
		食費	2000	円
		娯楽・お土産等費用	3700	円
		海外保険費	7500	円
		マラソン参加費	1440	円
		プログラム後の旅行費用一式	24000	円

3. 参加プログラムに関する感想

○まずプログラムについて、大きく授業と学外研修について書きます。授業については1コマが2時間の授業で英語で行われました。このプログラムには同時にマレーシアの学生も参加しており、マレーシアの学生は中国語も英語も話せるため日本人はおいていかれがちだったと思います。その分とても刺激を受けましたが…。先生も日本人学生の発言の場を作ろうと工夫してくださっていました。授業の内容自体は少し難しいものもあります。やはり経済の内容など専門的なワードが用いられる内容は特に難しかったです。学生交流の時間ではマレーシアの学生達とバドミントンやバスケットを行ったり、西南政法大学の学生とカンフーや太極拳を練習しました。学外研修については、重慶の有名な観光地へと行きました。ただ引率の先生が日程説明や集合時間・場所など全て中国語で説明され、中国語ができる日本の学生から確認するというスタンスでした。西南政法大学の学生ボランティアの方も参加してくださいませ。西南政法大学には日本語学科がないため、基本的に中国語か英語での交流になります。しかしこれは私たちにとって母語以外の言葉で交流する貴重な機会なので、日本人同士でかたまたま、積極的に他大学・他国の学生と関わっていくことが大事だと感じました。

○食事について、重慶は四川省の近くであることから、留学前から辛さが心配でした。しかし辛さは調節してもらえるので問題ないと思います。プログラム登録時に大学側から大学内の食堂やスーパーで使えるカードをお借りしました。そのカードに300元入っており、大学内での食事等はそのカードで支払います。大学の食堂は学外に比べて安く、かつかなりの量が食べられます。実際に300元も使うことはなく、残金をお土産代として使う人が殆どでした。学外での食事は自分で払います。麺類は日本と同じ感覚ですが、他のおかず等は一人ひとりのご飯としてではなく、数人で分けて食べるスタンスかなと感じました。辛い食べ物はおなかを壊しやすかったりするので少し注意が必要です。また重慶で有名な火鍋を食べる際はしっかりと火を通してから食べることをおすすめします。日本の感覚で食べない方がよいとのことでした。

○マラソンについて、早朝に大学を出発し会場へ向かいました。マラソンに関しては基本的に領事館の方にお世話になりました。最初はミニマラソンで5km走り、集合場所に戻るためにまた5km歩いて帰るといふ、計10kmの道のりでした。私たちは最初から走る組と歩く組に分かれて参加しました。私は走る組で参加しましたが、5kmは意外に長いです。でも走り終わった後の達成感は大きなものがありました。また領事館主催の晩餐会やマラソンの帰り道、マラソン後の食事会において中国で会社をもつ方や中国で働いている方から、中国についてや、海外で働くことについて様々な話をお聞きすることができ、とても貴重な機会を得られたと感じています。

○次に重慶について。重慶は人口が多いためとても高いビルが並んでいます。また工事中の場所も多いです。反日感情をもつ人ももちろんいますが、全体的に見て良い人が多いように感じました。車の数も多く、交通渋滞は普通のようなです。交通手段としてはバスが最も安いですが、いつも満員状態でした。どの交通手段をとっても日本との違いを見ることができおもしろいです。交通の面ではプログラムの活動だけでは見られない部分が多いので、自由行動等の時間に積極的に学外に出てみることをおすすめします。

○自由行動について、今回のプログラムでは、半日の自由行動日に領事館を訪問し、プログラム自体では自由活動の時間はありませんでした。私はマラソンの日の午後と修了式後の帰国準備の時間で学外に遊びに行きました。その際は、それまでの活動で仲良くなった西南政法大学のボランティア学生にお願いしてガイドをしてもらいました。その際ハプニング等もありましたが、日本との違い・中国の国民性を感じられる場面もありました。また自由行動の際はAll Englishの状態、私のつたない英語での会話でしたが、それでも困ることはありませんでした。逆に日本ではあまりできない外国語だけの時間だったため、英語でコミュニケーションをとれる楽しさやうれしさを実感した時間でした。

○全体的な感想

私は過去に広島大学の短期プログラムで海外留学を経験しています。それもあつてか、今回のプログラムは、学生にとってとても自由がきくプログラムだと感じました。その分自分から積極的に動くべきだと思います。そうすればそうするだけ得られるものは多いと思います。逆に何もしなければ何も分からないまま終わってしまうような気がしました。また自己責任でしっかり行動することが大事です。門限は特にもうけられておらず、授業時の出席確認も特になかった気がします。名札もありません。「自分の身は自分で守る」とても基本的なことだと思いますが、研修後半など少しずつ慣れてくると疎かになりがちな面でもあります。最後まで自己管理を徹底し有意義な生活を送れるよう、自分自身も努力し、また周りの仲間と協力することが大事です。10日間というとても短いプログラムでしたが、とても充実した時間でした。



広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム
協定大学実施ショートプログラム 参加報告書②

所属学部・研究科	法学部 1年次
留学先大学	西南政法大学 (国名: 中国)
プログラム名称	HUSA ショートプログラム
プログラム期間	平成 29年 3月 12日 ~ 平成29年 3月 21日

1. 渡航について

出国年月日	平成 29年 3月 12日
経路	関西国際空港～江北国際空港
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 大学関係者 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	平成 29年 3月 21日
経路	江北国際空港～関西国際空港

2. 所要経費について

所要経費	総額	30692	円	
	内訳	宿泊 (日本) 費	9570	円
		交通 費	16680	円
		食 費	218	円
		お土産 費	4224	円
			円	

3. 参加プログラムに関する感想

このプログラムに参加して本当に良かったと思います。私は初めての海外で、中国に対するイメージは空気が汚いとか、食品偽装が多いとか、特に重慶は反日が多いというあまりいいものではありませんでした。しかし、行ってみると全くそんなことはなく、確かに空気は悪い日もありましたが、中国の人達は優しい人ばかりでした。また、西南政法大学で、郭先生の日本語の授業を見学させて頂いたのですが、夜間の授業にも関わらず、みんな居眠りせずに熱心に授業に参加していて、とても刺激をうけました。中国の学生は真面目で、驚きました。また、カンフーの授業では生徒の方にも教えていただき、とても面白かったです。さらに、プログラムにある領事館の方々の晩餐会で、総領事の方とお話したのですが、日中関係の問題についてとても貴重なお話を聞くことができ、考えさせられました。しかし、残念だったこともあります。それは私自身もっと中国語を学んでおけばよかったということです。中国語が話せないため苦労しました。また、プログラムに中国の法についても学べるとあったのですが、予定からなくなっていたので、学びたかったです。さらに、引率の先生がいらっしやらなかったのも、もし何か事件に巻き込まれたらどうしようという不安がありました。

このプログラムを通して、中国に対するイメージの変化、中国語の重要性、日本と中国の関係など、様々なことを知り、考えさせられました。実際に行かなければ分からないことがこんなにあるのかと驚きました。このプログラムに参加できて良かったです。また同じプログラムがあればぜひ参加したいと思いました。

**広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム
協定大学実施ショートプログラム 参加報告書③**

所属学部・研究科	経済学部 1年次			
留学先大学	西南政法大学 (国名: 中華人民共和国)			
プログラム名称	西南政法大学春季短期研修プログラム			
プログラム期間	平成29年3月12日～		平成29年3月21日	
1. 渡航について				
出国年月日	平成29年3月12日			
経路	関西国際空港から重慶江北国際空港までの直行便			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者・その他) <input type="checkbox"/> 無			
帰国年月日	平成29年3月21日			
経路	重慶江北国際空港～上海浦東国際空港～広島空港			
2. 所要経費について				
所要経費	総額	約 80,000 (食費は大学から支給された電子マネー (300 元) で賄えた)		円
	内訳	渡航費 (往復)	61,603	円
		海外旅行保険費	5,910	円
		その他 (大学外での食事代、お土産代等)	約 10,000	円
		重慶国際マラソン大会参加費	約 1,200 (80 元)	円
3. 参加プログラムに関する感想				
<p>10 日間という短い期間だったが、毎日かなりの刺激を受けた。トイレや歩道などの衛生面、道路で車のクラクションを鳴らす回数の多さ、人々の話す声の大きさなど、現地での生活で驚くことも多かった。また、ホテルや空港であっても英語が通じない場面は少なくなく、自分の中国語が拙い上になんとか話すことのできる英語が使えないとなった時どう工夫して相手とコミュニケーションをとればいいのかということも滞在中に学ぶことができた。在重慶日本国総領事館への訪問や領事館主催の晩餐会において中国で活躍されている日本人の方々にお会いできたことや、初めてミニマラソン (5km) に参加して完走し達成感を味わえたことは私にとって貴重な経験となった。</p> <p>西南政法大学の学生ボランティアの方々と一緒に授業を受けたマレーシアの学生さんたちは皆英語も中国語も堪能だった。また、共にこの春季短期研修プログラムに参加した広島修道大学の方も 1 年間台湾への留学を経験していて中国語が流暢だった。彼らと過ごしていて自分の語学力の低さ故に会話が続かないなど悔しい思いをたくさんしたし、同時に、もっと話せるようになりたいという意欲も湧いた。</p> <p>今回広大からの日本人の参加者は私も含めほとんど中国語を話せない人が多く、中国人留学生の参加者の方に 10 日間ずっと通訳をしてもらっていた。ある程度中国語を話せる学生を参加者にするか、中国語の堪能な教員が同行してもらった方がいいと思った。ホテルのチェックインや空港から大学までのタクシー、授業の指示などほとんどがスピードの速い中国語で、留学生の方の通訳がなかったら私たちはきっとトラブルに巻き込まれていたと思う。</p>				

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム
協定大学実施ショートプログラム 参加報告書④

所属学部・研究科	経済学部 1年次			
留学先大学	西南政法大学 (国名: 中国)			
プログラム名称	西南政法大学春季短期研修プログラム			
プログラム期間	平成29年 3月 12日～	平成29年 3月 21日		
1. 渡航について				
出国年月日	平成 29年 3月 12日			
経路	関空から重慶			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者 ・ その他) <input type="checkbox"/> 無			
帰国年月日	平成 29年 3月 21日			
経路	重慶から成田			
2. 所要経費について				
所要経費	総額	15200	円	
	内訳	食費	5000	円
		交通費	200	円
		雑費	10000	円
		費		円
		費		円
3. 参加プログラムに関する感想				
<p>私は今回のプログラムが初めての海外でした。現地での食事は大学の食堂が主だったのですが、食堂のおばちゃんたちには英語が通じず中国語のみで会話しなければならないため、かなり苦労しました。しかし西南政法大学の郭先生をはじめボランティアの生徒の手助けがあったため、すごく過ごしやすかったです。また、重慶は物価が安い上に大学から300元入りのカードを支給されたため、重慶や中国の料理をたくさん食べることができました。四川料理に似ているため、料理はとても辛かったのですが慣れると癖になったのか自ら辛い料理を頼むようになっていました。大学での授業は全部英語で行われたため、ついていくのに必死でしたが中国側から見た中国の経済成長などとても興味深いもの多くておもしろかったです。また、郭先生のご厚意で日本語の授業も見学しました。私たち日本人が意識せずに使っている日本語を発音から丁寧に解説している授業はとても勉強になりました。今回のプログラムでは領事館に訪問しました。領事館の方と一緒に中国と日本の関係性について自由に発言する場があったのですが、皆さんいろいろな意見を持っており日中関係について改めて深く考えることができました。私は中国に行く前、中国の方々は日本人に対していい思いを抱いていないだろうから怖い人がたくさんいるというイメージを持っていました。確かに反日の方も少しはいましたが、言葉が通じないとわかってもジェスチャーで教えてくれたり私の拙い中国語も笑顔で聞いてくれる方がたくさんいて、怖い人がいるというイメージを持っていた自分を恥じました。今回の研修で学ぶことがたくさんあったため、それらを今後の生活に生かしていきたいと思います。</p>				

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム
協定大学実施ショートプログラム 参加報告書⑤

所属学部・研究科	社会科学 学部(研究科)	M1 年次	
留学先大学	西南政法大学 (国名: 中国)		
プログラム名称	HUSA 西南政法大学春季研修プログラム		
プログラム期間	平成29年 3月 12日 ~ 平成29年 3月 21日		
1. 渡航について			
出国年月日	平成29年 3月 12日		
経路	中国済南遥墙空港 -- 中国重慶江北空港		
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者・その他) <input type="checkbox"/> 無		
帰国年月日	平成29年 3月 21日		
経路	中国重慶江北空港 -- 中国上海浦東空港 -- 済南遥墙空港		
2. 所要経費について			
所要経費	総額	25,000 円	
	内訳	交通費	20,000 円
		娯楽費	5,000 円
		費	円
		費	円
		費	円
3. 参加プログラムに関する感想			
<p>今回の企画の趣旨の一つである、広島市と重慶市の友好都市交流の30周年記念事業の取り組みに、2017年3月12日から3月21日のHUSA 西南政法大学春季研修プログラムに参加できて、非常に光栄に思います。</p> <p>まず、西南政法大学とその周辺の環境がとてもよかったので、心を落ち着けました。また、西南政法大学の先生や学生さんはみんな優しかった。勉強から日常生活に至るまで、どんな困難があっても、いつも手を差し伸べてくれました。</p> <p>そして、文化・交流の面では、私は、今回のプログラムを通して、中国人だけではなく、日本の学生として、新たな視角から中国文化や中国武術などを認識できて、いい勉強になりました。</p> <p>最後に、もっとも深い印象を残ったのは、在重慶日本国総領事館での見学です。在華日本国領事館がどんなところで、どんな人が何をやっているかなどをわかっていました。高い興味を持っています。今後、私も両国のかげ橋になり、両国が同時に関わっている仕事に就くように頑張ります。</p> <p>要するに、今度の2017年西南政法大学春季研修プログラムは、自分自身にとって本当にいい経験になります。これから、もしチャンスがあれば、ぜひこのようなプログラムに参加します。</p>			

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム
協定大学実施ショートプログラム 参加報告書⑥

所属学部・研究科	法学部 1年次			
留学先大学	西南政法大学 (国名: 中国)			
プログラム名称	広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム協定大学実施ショートプログラム			
プログラム期間	平成 29 年 3 月 12 日～ 平成 29 年 3 月 21 日			
1. 渡航について				
出国年月日	平成 29 年 3 月 12 日			
経路	関西国際空港-重慶江北国際空港			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者・その他) <input type="checkbox"/> 無			
帰国年月日	平成 29 年 3 月 21 日			
経路	重慶江北国際空港-成田空港			
2. 所要経費について				
所要経費	総額	62950	円	
	内訳	交通 (飛行機・往路) 費	15540	円
		交通 (飛行機・復路) 費	14800	円
		日本での宿泊費	9570	円
		新幹線費	18040	円
		高速バス費	5000	円
3. 参加プログラムに関する感想				
<p>私は、このプログラムに参加する前は海外に行ったことがなく、当然、中国に行ったこともありませんでした。ニュースでしか中国の様子を知らなかったため、初めは、中国は日本人にとって住みにくく、冷たくされるのではな いかと考えたこともありました。しかし実際に行ってみると、日本のことが好きな人、言葉の拙い私に、筆談とゆっ くりした口調で丁寧に説明してくれた様々なお店の人たちといった親切な人にたくさん会うことができました。また、 受け入れ先の大学生も皆親しみを込めて私たちと接してくれ、充実した日々を送ることができました。「本当の様子 は、行ってみないとわからない」という言葉の意味を、身を以て知ることができたと感じています。</p> <p>また、英語で交流する機会も多かったのですが、時々私の英語が伝わらなかったこともあり、英語の重要性を改め て知る良い機会になったと思います。</p> <p>中国の書道やカンフーといった中国の文化に触れることができたり、中国経済について、現地の経済の講義をされ る先生のお話を伺うことができたりと、日本にいるだけでは絶対に経験できないことが数多くあり、留学に行く前よ りも格段に成長できたように感じます。また、領事館の方のお話には、将来について考える上で、自分の中で一つの 指標となりました。加えて、言葉が通じない歯がゆい環境の中で、語学に対しての目標もできました。</p> <p>初めての経験ばかりでしたが、今回のプログラムで多くのことを得ることができました。また機会があれば、参加 させていただきたいです。</p>				



中国·重慶市

西南政法大学春季研修

期間：2017/3/12~3/21